



府中市放課後子ども教室 **けやきっず**  
YSSスタッフ・ニュース 2017-07 号



2017年7月8日  
NPO法人府中YSS  
発行責任者 村山 健

このニュースの目的は、府中YSSが受託した4校のスタッフの皆様にも、事業の状況をお伝えすると共に、研修資料として役立たせていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します  
**6月に行われました各校のイベントの様子です**



6/24. 十小「実行委員会主催：お絵かき大会」



6/24. 南町小「実行委員会主催：けやきっずまつり・科学体験教室」



6/28. 六小「実行委員会主催：卓球教室」



6/26. 日新小「ドッジボール大会」





## “雷”とは？ わかりやすく言えば・・・



真夏の夕立と一緒に「ゴロゴロ・・・ドッカーン!!バリバリバ・・・!!」と、凄まじい轟音を響かせる雷。

そんな時子供達は怖がいながらも、怖いもの見たさでよく外を見たがるんですよね・・・。危ないって言うのに!!

ところで夕立、雷、入道雲…夏の風物詩ともいえるこれらの自然現象ですが、意外と知らないのが雷の発生する仕組み。子供に聞かれたときにも分かりやすく簡単に説明できると良いですね!

ということで今回は雷の発生する仕組みや、あの物凄い音はなぜ鳴るのかなど、「雷の知りたいこと」について書いていますので一緒に見ていきましょう!

(中略)で、難しい話を簡単に説明するのであれば、よくある話かもしれませんが、冬のセーターの例がわかりやすいと思います。冬にセーターなどの静電気の起こりやすい衣類を着ていて、帯電した静電気はドア/フなど電気の流れやすい素材のものに触れたときにパチッという音と共に瞬時に発光放電します。

例えるならば、この静電気の溜まったセーターが雲で、発光が稲妻、パチッという音が雷鳴ですね。

子供に説明するならば、「大きな雲の中は冷たい氷の嵐みたいになっていて、電気がどんどん作られ溜まる。その電気があふれて雲から漏れてくるのが雷なんだよ～」といったところでしょうか。



さて遠くで「ゴロゴロ・・・やピカ!」ときたらどうしますか?

校庭や外にいる場合は、すぐに教室内へ避難しましょう。

おもしろいからと言って外で見ていたいしないように注意しましょう。



特に木の下は危険です。

**雷に注意して子ども達の見守りをお願いします。**